

令和2年度 第3回 静岡市健康福祉審議会 児童福祉専門分科会 議事要旨

- 1 日 時 令和2年12月15日（火）～令和3年1月13日（水）
- 2 開催方法 電子メール等による開催
- 3 出席者 （委員）白木会長、今村委員、遠藤委員、大橋委員、垣見委員、
佐々木委員、下山委員、田中委員、寺尾委員、糠谷委員、
増田委員、松本委員、三森委員、村山委員、望月委員

（事務局）子ども未来局 子ども未来課

- 4 傍聴者 なし
- 5 議題等 （1）議題 保育所等の設置認可等に係る意見聴取について

6 会議内容

（1）開催の経過

- | | |
|---------------|---------------------|
| 令和2年12月15日（火） | 委員に対し開催通知を送付 |
| 令和2年12月21日（月） | 委員に対し会議資料を送付 |
| 令和2年12月21日（月） | |
| ～令和3年1月5日（火） | 委員から意見書の提出 |
| 令和3年1月13日（水） | 委員意見に対する事務局回答を送付、閉会 |

（2）審議内容

別紙のとおり

以上

1 質問及び回答

委員	質問	回答
大橋委員	やしのき保育園について、「保育所の運営実績なし」、 「園長就任予定者について過去施設長の経験なし」とあるが、園の運営は確実に行われるのか。	事前調査会議にて、開園後の運営費のシミュレーションや、要望・苦情に対する対応等について確認している。施設長就任予定者は、保育施設での勤務経験が10年以上あり、また、事前調査会議の助言に従って、開園までに施設長としての資質向上に努めるとのことである。こうしたことから、開園後の運営についてしっかりと取り組んでいくものと認識している。
	やしのき保育園について清水区春日に開園予定とあるが、春日周辺の既存園で対応することができないのか。	やしのき保育園の新設については、『静岡市子ども・子育て・若者プラン』における量の見込みと確保方策に基づき行うものである。同園が位置する清水羽衣区域は、『静岡市子ども・子育て・若者プラン』上、0歳児の保育定員が23人不足する見込みであることから、新設が必要なものと考ええる。
	定員数と実際の園児の受入れ数に乖離のあるケースがあると聞くことがあるが、市は各園の実利用児童数を把握しているのか。	各園の利用児童数について把握している。
田中委員	事前調査会議で、事業者に対し、園の保育理念等の聞き取りを行っているのか。	園の保育理念をはじめ、運営面（延長保育の実施の有無・連携園との連携内容・給食の提供方法など）についての聞き取りを行っている。
村山委員	保育実施率の定義とは何か。量の見込みと確保方策上で過不足の算出に関わらず50%前後の利用者がいると理解してよいか。	保育実施率とは、満3歳未満の子どもの数に占める、認定こども園、保育所等の利用定員数の割合であり、利用者数の割合を示すものではない。
	1号定員の増加がなされる区域が多いがその理由は	既存の私立幼稚園において、県からの私学助成金を受ける幼稚園（市の

何か。		利用定員の設定は不要) から、子ども子育て支援新制度の施設型給付費を受ける幼稚園 (市の利用定員の設定が必要) へ移行する園が増えてきているため。
-----	--	---

2 意見

委員	意見
大橋委員	小規模保育園からの転園児に発達気になる子が多くいると転園先の園から聞く。小規模保育園在園中に発達気になる子の把握ができるシステムがあると良いと感じる。
田中委員	認可予定園の保育理念を資料上で確認できるようにすると良いと思う。
寺尾委員	保育施設の運営経験がない事業者が保育事業に参入する動機を資料上で確認できるようにして欲しい。
増田委員	『静岡市子ども・子育て・若者プラン』における量の見込みと、実申込者数との乖離を把握することが必要であると考え。必要があれば量の見込みの修正を実施し、より実態に近い確保方策を検討する必要があるのではないか。